

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・書く活動においては、内容の中心を明らかにさせたり、相手意識をもった表現を意識させたりしてきたことで、話の中心が明確になる構成を考えながら書いたり話したりすることができるようになってきた。
- ・日記の課題や振り返りの場面で、自分の考えを書く機会を増やしたことで、感想や自分なりの考えをもつことができてきた。

(2) 課題

- ・漢字テストや練習を繰り返して行うことで、漢字の確実な定着を図ってきたが、漢字の読み書きの定着には、個人差が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った ○…目標値と同程度 △…目標値を下回った

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	○	/	/
第5学年	◎	◎ (第4学年時)	/
第6学年	○	◎ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく読んだり書いたりすることが十分に定着していない。 ・主語と述語との関係について理解が不十分であった。 ・ローマ字で表記されたものを正しく読むことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いなどの聞き取りは概ねできている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもつことができている。 ・調べたことを基に、考えと事例との関係を明らかにして文章を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が高く、発言やノート、読書活動に積極的である。概ね達成できている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・大半の児童は、漢字の読み書きが定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文や物語文の内容を読み取る力は、よくできている。 ・「二段落構成で文章を書く」などの、条件に沿って書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・目標値の全てで上回った。国語で学ぶ楽しさを引き続き養っていく。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や板書をノートやワークシートに写す活動を通し、文字の表記に関する事項の定着を図る。平仮名、片仮名、漢字の定着を目指すため、定期的な小テストを行う。 ・ペア学習、グループ学習を取り入れ、少人数の中で話す機会を設け、話す活動への慣れを図る。 ・片仮名・漢字については、小テストを行い、確実な定着を図る。間違えた漢字は何度も練習する。漢字に興味・関心をもてるよう、漢字の部分に注目させたり、文章の中で使えるよう、問題作りを取り入れたりしながら習熟を図る。特に、送りがなや熟語の練習を増やし、日常の中で漢字を使いこなす力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことを復唱したり、他者に伝えたりする活動を繰り返し行い、大切なことを漏らさずに聞き取り、伝える力を高めていく。 ・教科書や教師のモデル文を手本にし、文章を書く学習を継続して行う。最初は、少ない量から始め、自分の思いを表現することの楽しさを実感させながら、書くことに対する苦手意識をなくしていく。 ・様子や思いを分かりやすく相手に伝える力を高めるために、スピーチや作文で「初め・中・終わり」の構成で書けるようにする。 ・順序立てて書く力を付けるために、日記や短作文などの指導を宿題や授業で継続的に行い、事柄の順序を考えたり組み立てを意識したりしながら書く力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや速さ、姿勢など、気を付けることを具体的に示しながら音読させ、声を出す場を日常的に設定する。 ・朝の会や健康観察などの時間をうまく活用し、スピーチも定期的に行うことで、全ての児童が一人で話す機会を増やしていく。 ・伝え合い活動の充実を図るために、隣、グループ、学級全体など、場の設定を変えて、伝えたいことを明確にする。話し合いの場面を増やして、自分の考えが深まったという実感を経験できるようにしていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく読んだり書いたりする力の更なる定着を図るために、ドリルやタブレットを使用した練習、漢字テストに向けた練習を継続して行う。 ・主語述語の関係を正しく理解させるために、週に1回行う自学ノートには、必ず日記を書かせて、文章を書く経験を積ませる。 ・ローマ字を正しく覚えるために、週に一度は、すき間の時間や休み時間にタイピングの練習を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文では、段落相互の関係に着目させて、内容把握の時間を必ず確保する。要約して短く伝えられるように、時数を制限したりキーワードセンテンスを示したりして、自分の考えを書けるよう授業を展開する。 ・物語文では、心情や性格について、場面ごとのつながりと結び付けて、具体的に想像できるような授業構成を仕組み、登場人物の様子の理解を深める。 ・書く活動においては、一定の量を示したり条件を与えたりして書かせる活動を増やす。日記を書かせたり授業の振り返りで考えを書かせたりする場面を増やす。 ・スピーチや考えの交流など自分の考えを伝える機会を引き続き設定していく。読解力を高めるために、登場人物の心情や場面の情景を丁寧に指導する。挿絵から分かることを考えさせたり、イメージを共有したりと、視覚的に理解できるような指導を引き続き心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習へ取り組む意識を高めるために、自分で考えたことをペアやグループに発表したり、全体で共有したりする時間をとる。相手の発言に対して必ず反応を促すなど、意思表示を通して話し合いを活性化させていく。 ・言語活動の充実のために、教科書に掲載されている「言葉のたから箱」を活用する。また、分からない言葉が出てきたときには、積極的に辞典を用いることができるように、机の横に準備しておく。 ・児童が話しやすいように、ペア・グループでの話し合いをもとにしながら、全体での意見交流をするなど授業の中で工夫した活動をする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストに向けた練習を繰り返して行うことで、漢字の確実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く力を養うために、自分の考えを具体的に書いたり、学習の振り返りを文章で書いたりする活動に取り組んでいく。また、行事の感想などを作文で書くことによって、書く力の向上を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを他者との交流を通して広げたり、深めたりできる姿勢を養っていく。 ・漢字や語彙、読み書きなど、身についた力を、他の教科にも活用する態度を養う。

